

XenServer 7.1 リリースノート

XenServer 7.1 へようこそこのドキュメントでは、XenServer 7.1 の重要な情報について説明します。

XenServer 7.1 には、以下の 2 種類の商用エディションが用意されています。

- Standard Edition
- Enterprise Edition

XenServer 7.1 は [XenServer の製品ダウンロード](#) ページから入手できます。

XenServer 7.1 で追加された機能および拡張

XenServer 7.1 では、アプリケーション、デスクトップ、およびサーバー仮想化のユースケースにおける機能が強化されました。このリリースの主なテーマは、メンテナンスの簡略化、Citrix Provisioning Services (PVS) の拡張、および Nutanix Hyperconverged Infrastructure のサポートです。

XenServer 7.1 のすべての機能を、XenApp/XenDesktop のライセンスを受けたすべての顧客が利用できるようになりました。

PVS アクセラレータ Enterprise Edition

Citrix XenServer と Citrix XenApp/XenDesktop の開発チームは、既存の Provisioning Services (PVS) ソリューションを共同で開発、拡張して、顧客が Citrix Application and Desktop Delivery ソリューションを最大限に活用できるようにしました。

新しい PVS アクセラレータ機能は、XenApp および XenDesktop の展開においてネットワークトラフィックを劇的に減少させることによって、仮想サーバーとデスクトップの密度を向上させ、ブートスタート時のブート時間を短縮し、サーバーとデスクトップのパフォーマンスを全体的に改善します。

この機能は、PVS 7.13 を XenServer 7.1 とともに使用する場合に利用できます。

XenServer と Nutanix の統合

Nutanix と密接に連携して、XenServer を Nutanix Hyperconverged Infrastructure 製品にシームレスに統合しました。これは Nutanix AOS 5.0 Tech Preview リリース内で利用でき、これにより Nutanix の顧客が XenServer の固有の機能を活用できます。

XenCenter を使用した自動アップデート Enterprise Edition

XenCenter のアップデートのインストールウィザードは非常にスマートで、プールを最新状態に保つためにどのホットフィックスが必要かを自動的に決定し、ウィザードを 1 回使用するだけですべてのプールを最新の状態に更新できます。

XenServer ライブパッチ Enterprise Edition

XenServer は、ホストを再起動する必要なく、実行中のシステムにシームレスにパッチを適用する機能を業界で初めて実現しました。

この機能が適用される一部の Linux カーネルおよび Xen ハイパーバイザーのホットフィックスは、ホストのコントロールドメイン (Dom0) メモリに適用されるライブパッチと、自動アップデート機構を介してホストのディスクイメージを更新するホットフィックスから構成されています。これにより、その後再起動された後も、適用されたパッチが永続することが保証されます。

長期サービスリリース (LTSR)

長期サービスリリースとして、XenServer 7.1 には 10 年のサービスオプションが用意されており、5 年の標準サポートと、オプションの 5 年延長サポートが含まれています。

LTSR について詳しくは、「[XenApp, XenDesktop, and XenServer Servicing Options](#)」を参照してください。

追加の XenCenter の拡張

- Linux VM 用の vCPU Hotplug Standard Edition および Enterprise Edition
- XenCenter を使用してコントロールドメイン (Dom0) メモリを変更する機能

パフォーマンスの向上

- SMB パフォーマンスの向上 Enterprise Edition
- VM のインポート/エクスポート操作にかかる時間の大幅な短縮

新しいゲストのサポート

XenServer 7.1 は、次の新しいゲストオペレーティングシステムをサポートします。

- Windows Server 2016
- SLES 11 SP4
- CentOS 6.8、7.3
- RHEL 6.8、7.3
- Oracle Linux 6.8、7.3
- Scientific Linux 6.8
- NeoKylin Linux Advance Server 6.5
- NeoKylin Linux Advance Server 7

プラットフォームのアップデート

このリリースでは、プラットフォームが次のようにアップデートされました。

- Xen ハイパーバイザーv4.7.1
- Dom0 Linux Kernel v4.4

新しいプロセッサのサポート

- intel Skylake-H プロセッサ

XenServer Conversion Manager アップデート Enterprise Edition

- VMware ESXi および vSphere のホスト上で実行されている VM を変換する機能
- Linux ゲストオペレーティングシステムの変換のサポート

Citrix 製品との互換性

XenServer 7.1 は、Citrix XenApp/XenDesktop 7.6、7.12 および 7.13 と相互運用可能です。

ローカライズのサポート

このリリースでは、XenCenter の簡体字中国語および日本語バージョンも使用できます。

インストールおよびアップグレード

インストールを開始する前に、『[XenServer 7.1 インストールガイド](#)』で説明されている、インストール手順およびシステム要件を確認してください。

ライセンス管理

XenServer 7.1 のライセンスが必要な機能を使用するには、顧客が Citrix ライセンスサーバーをバージョン 11.13.1.2 以上にアップグレードする必要があります。

注: PVS アクセラレータ機能の使用を希望する顧客は、ライセンスサーバーを 11.14 にアップグレードする必要があります。

XenServer 7.1 のライセンスについて詳しくは、[XenServer 7.1 Licensing FAQ](#) を参照してください。

製品ドキュメント

XenServer 7.1 の製品ドキュメントは、[XenServer 7.1 製品ドキュメント](#)で参照してください。

XenServer に関するよくある質問と回答については、「[XenServer 7.1 Technical FAQ](#)」を参照してください。

製品に付属のドキュメントは、必要に応じて改訂される場合があります。[Citrix 製品ドキュメント](#)の「[XenServer 7.1](#)」ページで、最新のドキュメントについて定期的にチェックすることをお勧めします。

既知の問題と考慮事項

次のセクションでは、このリリースの既知の問題とその対応策、およびそのほかの考慮事項について説明します。

グラフィックサポート

- Intel Skylake プロセッサ上で Intel GVT-g がサポートされるようになりました。
- 大量の RAM を搭載し、Intel Xeon v4 以上のプロセッサを使用する XenServer ホストは、複数の vGPU 対応 VM を並行して再起動するなど、特定の操作を実行すると、予期しないクラッシュが発生する場合があります。この問題を回避するには、Xen コマンドラインに `ept=no-pml` を追加してホストを再起動します。詳細は、<https://support.citrix.com/article/CTX220674> を参照してください。

全般

- XenServer ホストを以前のバージョンから XenServer 7.1 にアップグレードした後で、XenServer Tools がインストールされた Windows 仮想マシンで、XenServer Tools がインストールされていないと間違えてレポートされたり、一部の機能が利用できないと表示されたりする場合があります。この問題を解決するには、XenServer 7.1 と動作する XenServer Tools をインストールしてください。
- 1 つの vCPU のみを持つドメインコントローラ上で Active Directory (AD) 認証を有効化すると、障害が発生する可能性があります。この問題点を解決するには、AD ドメインコントローラに少なくとも 2 つの vCPU があることを確認します。
- ESXi サーバーから XenServer に Windows VM をインポートすると、IPv4/IPv6 ネットワークの設定が失われることがあります。ネットワーク設定を保持するには、転換を完了した後で IPv4/IPv6 設定を再構成します。
- Citrix サポート Web サイトから更新をダウンロードして、ISO を解凍せずに zip ファイルをアップロードすると、または不完全な ISO ファイルを XenServer ホストのプールにアップロードしようとする、VDI_IO_ERROR - デバイスの I/O エラーで失敗することがあります。この問題を解決するには、完全に zip ファイルをダウンロードして ISO を解凍してから XenServer プールに更新をアップロードするようにしてください。
- 仮想マシンの実行中にプールの CPU 機能セットが変更された場合（たとえば、新しいホストが既存のプールに追加された場合や、仮想マシンが別のプールのホストに移行された場合）、仮想マシンは起動時に適用された機能セットを使用し続けます。プールの新しい機能セットを使用するように仮想マシンを更新するには、仮想マシンの電源をオフにしてから起

動する必要があります。XenCenter で[再起動]をクリックするなどして仮想マシンを再起動しても、仮想マシンの機能セットは更新されません。

- プール間でコンテナ管理仮想マシンを移行すると、コンテナ管理機能は仮想マシンに対する動作を停止します。これは、コンテナ管理がプール固有のキーを使用して実装されているため起こります。この問題を解決するには、新しいプールで、「コンテナ管理」の仮想マシンごとの準備手順を繰り返す必要があります。このため、以下の点に注意してください。
 - つまり、CoreOS では、仮想マシンの基本設定で構成ドライブの構成を変更して、クラウド構成ドライブを更新する必要があります。
 - RHEL/CentOS/OL 7 および Ubuntu では、xscontainer-prepare-vm を再実行する必要があります。準備手順を繰り返した場合でも、古い XenServer プールが引き続き仮想マシンにアクセスできる場合があることに注意してください。
- コンテナの名前を変更しても、コンテナ管理ビューの更新はトリガーされません。また、Ubuntu 14.04 では、XenCenter 外部からコンテナを一時停止または一時停止解除しても、ビューの更新がトリガーされることはありません。つまり、XenServer では、現在の(名前変更/一時停止/一時停止解除された)コンテナの状態が表示されない場合があります。この根本原因は、ビューが Docker イベント通知によってのみ更新されることです。回避策として、同じ仮想マシンで実行されている無関係なコンテナでアクション(開始や停止など)を実行することで、手動で更新をトリガーできます。

国際化

- ホストコンソールでは、日本語などの非 ASCII 文字を使用することはできません。
- XenServer のルートパスワードには非 ASCII 文字を使用することはできません。

ハードウェアの互換性

- XenServer [ハードウェア互換性一覧\(HCL\)](#)で、ハードウェアの互換性についての最新情報を確認してください。

ストレージ

- XenServer には、SMB Continuous Availability 共有の完全統合サポートは用意されていません。SMB Continuous Availability マスターノードに障害が発生する一部のシナリオでは、SMB SR が無応答になり、ホストの再起動が必要になることがあります。
- Nutanix SRs を使用すると、その後 HA を再有効化しても、HA を無効化した後に残る 2 つの VDI(以前に HA ステートファイルおよびプールメタデータに対して使用された)は再利用されません。顧客がこれらの VDI を削除しても安全です。
- XenServer ホストまたはプールのデフォルト SR が切断状態のとき、その SR にアップデートをアップロードしようとしても失敗します。
- Microsoft iSCSI Software Target Version 3.2 または 3.3 で提供されているストレージには接続できません。ただし、Windows Server 2012 以降に付属の iSCSI Target Server で提供されているストレージには接続できます。

ネットワーク

- FCoE Boot-from-SAN を使用して XenServer 7.0 をインストールした場合、XenServer 7.0 を XenServer 7.1 にアップグレードするためにプールのローリングアップグレード (RPU) を実行しても、次のエラーにより失敗します: 再インストール対象に指定したインストールの場所を確認できませんでした。この問題点を回避するには、XenServer のインストールメディアを使用するか、応答ファイルで PXE ブートを使用することで、XenServer ホストをアップグレードします。
- 場合によっては、ソフトウェア FCoE スタックを使用して FCoE SAN から XenServer ホストをブートすると、ホストの初期化フェーズで一時的にリンクが切断されるためにホストが無応答になることがあります。ホストが長い間無応答に見える場合、ホストを再起動してこの問題点を解消してください。
- XenServer では、FCoE SR で使用される NIC をアンプラグすることはできません。

XenCenter

- XenCenter を実行するコンピューター上でフォントサイズや画面解像度を変更すると、ユーザーインターフェイスの表示が乱れる場合があります。デフォルトのフォントサイズは 96 DPI です (Windows 8 と Windows 10 では [100%] に相当します)。

ゲスト

- XenServer で新しいハードウェアセキュリティ機能を使用すると、32 ビット PV VM の全体的なパフォーマンスが低下することがあります。この問題点の影響を受ける顧客は、次のいずれかの手段をとれます。
 - PV Linux VM の 64 ビットバージョンを実行する。または、
 - `{{no-smep no-smap}}` オプションを付加して Xen をブートします。ホストのセキュリティ深度が浅くなる可能性があるため、このオプションはお勧めしません。
- PVS-アクセラレータ対応 VM を OVF にエクスポートし、続いて同じプールにインポートしようとする、PVS アクセラレータ設定が失われることがあります。このため、VM 上では設定は有効化されず、エクスポート時にも OVF アプライアンスに保存されません。これを解決するには、XenCenter または xe CLI を使用して、インポートされた VM 上で PVS アクセラレータを有効化します。
- 一定期間 (通常は 10 分) 非アクティブ状態が続くと、HVM Linux ゲストのコンソール画面に何も表示されなくなることがあります。この問題を回避するには、ゲストのカーネル起動パラメーターに `consoleblank=0` を追加します。カーネル起動パラメーターのアップデートについて詳しくは、ゲスト OS のドキュメントを参照してください。

Citrix について

Citrix (NASDAQ: CTXS) は、ソフトウェア定義ワークスペースへの移行を先導し、仮想化、モビリティ管理、ネットワーキング、および SaaS ソリューションを統合して、ビジネスの新たな方向性やユーザーがより働きやすい環境を実現します。Citrix のソリューションは、デバイス、ネットワークやクラウドに関係なく、アプリケーション、デスクトップ、データ、コミュニケーションをユーザーが即座に利用できるセキュアなモバイルワークスペースの提供を通して、ビジネスモビリティを推進します。Citrix の 2015 年度の年間売上高は 32.8 億ドルで、そのソリューションは世界中の 40 万以上の組織において 1 億人以上の人々に利用されています。詳しくは、www.citrix.co.jp を参照してください。

このレポートおよびそのほかの著作物、ならびに本契約の下での作業の実施にあたり作成、着想、創作、発見、発明または実用化される成果物の著作権は、Citrix が単独かつ完全に有し続けるものとします。なお、お客様には、本契約に基づく内部配布および使用を目的に、この著作権に対する全世界での、非独占的な権利が許諾されます。本契約は、Citrix 製品のライセンスを付与するものではありません。Citrix 製品には個別のライセンスが必要です。Citrix は、一般に認められた業界標準および手続きにより専門的かつ合理的な方法でサービスが履行されることを保証します。本保証の違反に対するお客様の唯一の救済方法は、Citrix による当該サービスの適時再履行に限られます。上記の保証は唯一かつ排他的なものであり、明示的、黙示的、法定を問わず、本契約の下で提供されるサービスまたは製品や、本契約の下で開発または提供されるプロセスまたは素材の性能やそれらから得られる結果に関する、商品性、特定目的への適合性、または権利侵害に対するすべての黙示の保証に代わるものとなります。Citrix がお客様に提供したすべてのサービスに対する責任は、お客様が実際に支払った金額を上限とします。いかなる場合においても、付随的、二次的、間接的、または懲罰的な損害（収益の減損を含むがこれに限らない）に対して、契約違反、不法行為、または厳格責任によるかどうかにかかわらず、本契約の一方の当事者は相手方当事者に対し責任を負わないものとします。本契約に関する紛争は、アメリカ合衆国フロリダ州法に準拠するものとします。

サードパーティサイトへのリンク。これらのリリースノートには、Citrix 以外の組織により管理される Web サイトのリンクが含まれている場合があります。Citrix は、これらのサードパーティの Web サイトの内容や使用方法について、いかなる責任も保証または受諾しないものとします。これらのリンクはお客様の利便性のために提供されており、これらの Web サイトへの Citrix の保証を示すものではありません。お客様の責任の下で、お客様が使用する Web サイトにコンピューターウイルスやその他の破壊的な問題がないことを確認してください。

Copyright © 2017 Citrix Systems, Inc. All rights reserved.

Citrix、および Xen は、Citrix Systems, Inc. の登録商標です。XenServer、および XenCenter は、Citrix Systems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

そのほかのすべての製品名、社名、マーク、ロゴ、およびシンボルは、該当する各社の財産です。

851 West Cypress Creek Road
Fort Lauderdale, FL 33099
954-267-3000
www.citrix.com